

段階一覧		小学部【図画工作科】			中学部【美術科】		高等部【美術科】	
教科目標		表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
知識及び技能	学部目標	(1) 形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくり出すことができるようにする。			(1) 造形的な視点について理解し、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。		(1) 造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	
	段階の目標	1 段階 ア 形や色などに 気付き 、材料や用具を 使おうとする ようにする。	2 段階 ア 形や色などの 違い に気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、 表し方を工夫 してつくり出すようにする。	3 段階 ア 形や色などの 造形的な視点 に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくり出すようにする。	1 段階 ア 造形的な視点について 気付き 、材料や用具の 扱い方に親しむ とともに、表し方を工夫する 技能 を身に付けるようにする。	2 段階 ア 造形的な視点について 理解 し、材料や用具の 扱い方などを身に付ける とともに、 多様な表し方 を工夫する技能を身に付けるようにする。	1 段階 ア 造形的な視点について理解するとともに、 意図に応じて表現方法を工夫 して表すことができるようにする。	2 段階 ア 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて 自分の表現方法を追求 して 創造的に 表すことができるようにする。
	造形的な視点	形や色などに気付き、気付くことができる	形や色の違いに気付き、気付くことができる	形の組み合わせや色の明るさの感じ、材料の質感に気付き、気付くことができる	形や色彩、材料や光などの特徴とその働きに気付き、気付くことができる	造形の要素に着目し、形や色彩、光などの特徴を理解することができる	形の優しさ、色の楽しさや寂しさ、光の柔らかさなど、実感を伴いながら理解できる	色彩の色味や材料の性質、質感などを理解し、柔軟に活用できる
	材料や用具	手や体全体で材料や用具を使おうとすることができる	身近な材料や用具を使うことができる	表したいことに合わせて材料や用具を使うことができる	表現の目的に合う材料や用具を選択し、扱い方に親しむことができる	意図や用途、目的に合わせて材料や用具を選択し、扱い方を身に付けることができる	材料や用具の特性を理解し、意図に応じた生かし方を身に付けることができる	意図に応じた材料や用具の特性の生かし方などを身に付けることができる
	表し方	握ったり押したり、形を変えたりすることができる	表し方を工夫し、意図的に形や色をつくり出すことができる	表したいことを考え、材料や用具を選び、表し方を工夫できる	自分なりの表現を考え、表し方を工夫する技能を身に付けることができる	表したいことや用途を考え、多様な表し方を工夫する技能を身に付けることができる	元心、得意心、こころをこらへ、材料や用具、形や色彩の生かし方を考え、工夫して表すことができる	表現の意図を明確にもち、よりよいもの、より美しいものを目指して自分の表現方法を工夫できる
思考力、判断力、表現力等	学部目標	(2) 造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。			(2) 造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方について考え、経験したことや材料などを基に、発想し構想するとともに、造形や作品などを鑑賞し、自分の見方や感じ方を深めることができるようにする。		(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	
	段階の目標	1 段階 イ 表したいことを 思い付いたり 、作品を 見たり できるようにする。	2 段階 イ 表したいことを思い付いたり、作品などの 面白さや楽しさ を感じ取ったりすることができるようにする。	3 段階 イ 造形的なよさや美しさ 、表したいことや表し方などについて 考え、発想や構想 をしたり、身の回りの作品などから 自分の見方や感じ方 を広げたりすることができるようにする。	1 段階 イ 造形的なよさや 面白さ 、表したいことや表し方などについて考え、 経験 したことや 思ったこと 、 材料 などを基に、発想し構想するとともに、 身近にある造形や作品 などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。	2 段階 イ 造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや 想像 したこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、 自分たちの作品や美術作品 などに 親しみ 自分の見方や感じ方を 深める ことができるようにする。	1 段階 イ 造形的なよさや美しさ、 表現の意図と工夫 などについて考え、 主題 を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、 美術や美術文化 などに対する見方や感じ方を 広げたり することができるようにする。	2 段階 イ 造形的なよさや美しさ、表現の意図と 創造的な工夫 などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を 深めたり することができるようにする。
	イメージ	体験を通して、喜びや驚きを感じることができる	形や色を基に、「～みたい」とイメージができる	形や色の感じ、自分の思いや経験などから、具体的なイメージができる	造形的な特徴を基にした見立てや心情と関連付けたイメージができる	全体に着目し、造形的な特徴から心情と関連付けてイメージを捉えることができる	造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風で捉えることができる	作風や様式など、文化的な視点から全体のイメージを捉えることができる
	発想・構想	材料の可塑性や色の変化に興味をもつことができる	身近にある材料を見立てることができる	行事や生活体験から主題を考えることができる	経験したことや思ったこと、材料などから発想し、表し方を考え、作品に仕上げていく構想ができる	経験したことや想像したこと、材料などを考えた構想ができる	主題を基に、表したい表現世界をどのようにしたいかを考え、構成を創意工夫することができる	自己の心を見つめ考えたことを十分に取り入れながら構想を練ることができる
	見方や感じ方	目の前にある身近な材料や作品を見ることができ	作品などの面白さや楽しさを感じ取ることができる	身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げることができる	自分の見方や感じ方を広げることができる	自他の作品や美術作品などに自ら働きかけ、自分の見方や感じ方を深めることができる	美術作品などから、心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を広げることができる	品などから価値や情緒を感じ取り、見方や感じ方を深めることができる
主体的に学習に取り組む態度	学部目標	(3) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。			(3) 創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を営む態度を養い、豊かな情操を培う。		(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。	
	段階の目標	1 段階 ウ 進んで表したり見たりする活動に取り組み、 つくりだすことの楽しさに気付き とともに、形や色などに関わることにより 楽しい生活 を 創造 しようとする態度を養う。	2 段階 ウ 進んで 表現や鑑賞 の活動に取り組み、つくりだす 喜びを感じる とともに、形や色などに関わることにより楽しく 豊かな生活 を創造しようとする態度を養う。	3 段階 ウ 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす 喜びを味わう とともに、 感性 を育み、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。	1 段階 ウ 楽しく美術 の活動に取り組み、 創造活動 の喜びを味わい、 美術を愛好する心情 を培い、 心豊かな生活 を 営む 態度を養う。	2 段階 ウ 主体的に 美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を 高め 、心豊かな生活を営む態度を養う。	1 段階 ウ 楽しく美術 の活動に取り組み 創造活動 の喜びを味わい、美術を愛好する心情を 培い 、心豊かな生活を 創造 していく態度を養う。	2 段階 ウ 主体的に 美術の活動に取り組み 創造活動 の喜びを味わい、美術を愛好する心情を 深め 、心豊かな生活を創造していく態度を養う。
	学習調整	興味や関心があるものやことを表したり、見たりする活動に取り組もうとすることができる	比べて選んだり、つくりだしたりなど、進んで表現や鑑賞の活動に取り組もうとすることができる	比べて選んだり、つくりだしたりなど、進んで表現や鑑賞の活動に取り組もうとすることができる	完成までのおよその見通しや計画を考えて、楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる	自ら描いたりつくったり、多様な材料や用具を使ってみたりなど、主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる	目標の実現のために創意工夫を重ね、表現や鑑賞の学習活動に楽しく取り組むことができる	表現への願いや創造に対する自分の夢や目標をもち、創造的な表現や鑑賞に主体的に取り組むことができる
	粘り強い取り組み	友達や教師とともに活動する楽しさに気付き、気付くことができる	つくりだしたり、見たりするものに喜びを感じることができる	作品などをつくりだしたり、見たりすることそのものに喜びを感じ、味わうことができる	作品をつくる創造活動の喜びを味わうことができる	自己実現の達成感や満足感とともに、創造活動の喜びを味わうことができる	夢や目標の実現に向けて追求し、自己実現していく充実感を伴った喜びを味わうことができる	目指す夢や目標の実現に向かって積極的に取り組み、創造的な活動を目指して挑戦していく喜びを味わうことができる
	障害の程度	・知的障害の程度が比較的重い ・他人との意思疎通に困難さ ・日常生活でほぼ常時援助が必要	・知的障害の程度は1段階ほどではない ・他人との意思疎通に困難さ ・日常生活で頻繁に援助が必要	・他人との意思疎通に困難さ ・日常生活で適宜援助が必要	・小学部3段階を踏まえ、生活年齢に応じながら ・他人との意思疎通や日常生活への適応に困難さ	・中学部1段階を踏まえた ・将来に職業生活を見据える	・中学部2段階やそれまでの経験を踏まえた ・生活年齢に応じながら、卒業後の家庭生活、社会生活及び職業生活などとの関連を考慮	・比較的障害の程度が軽度 ・卒業後の家庭生活、社会生活及び職業生活などとの関連を考慮
ねらい	・教師の直接的な援助を受けながら体験し、物事に気付き注意を向けたり、関心や興味をもたせたりする ・基本的な行動の一つ一つを着実に身に付ける	・教師からの言葉掛けによる援助を受けながら、動作や動きを模倣したり、目的をもった遊びや行動をとったりする ・基本的な行動を身に付ける	・自ら場面や順序などの様子に気付いたり、主体的に活動に取り組んだりする ・社会生活につながる行動を身に付ける	・経験の積み重ねを重視 ・自ら主体的に取り組む、経験したことを活用したり、順序を考えたりする ・日常生活や社会生活の基礎を育てる	・自ら主体的に取り組む、目的に応じて選択したり、処理したりなど工夫する ・日常生活や社会生活及び将来の職業生活の基礎を育てる	・自ら主体的に学び、卒業後の生活を見据えた基本的な生活習慣、社会性及び職業能力等を身に付ける ・基礎的な内容	・自ら主体的に学び、卒業後の実際の生活に必要な生活習慣、社会性及び職業能力等を習得する ・実用的かつ発展的な内容	

【参照】文部科学省、『特別支援学校学習指導要領（平成29年告示）解説 各教科編（小学部・中学部）』開隆堂,2018,p.23-p.25,p.185-p.217

【参照】文部科学省,「幼稚園教育要領解説」,フレーベル館,2018,p.226

【参照】文部科学省,『特別支援学校学習指導要領（平成29年告示）解説 各教科編（小学部・中学部）』開隆堂,2018,p.23-p.25,p.406-p.436

【参照】文部科学省,「特別支援学校小学部・中学部 学習評価参考資料」,2020

【参照】文部科学省,『特別支援学校学習指導要領（平成31年告示）解説 知的障害者教科等編（上）』ジヤース教育新社,2020,p.27-p.28

【参照】文部科学省,『特別支援学校学習指導要領（平成31年告示）解説 知的障害者教科等編（下）』ジヤース教育新社,2020,p.24-p.55

一 指導 内容	小学部【図画工作科】			中学部【美術科】			高等部【美術科】		
	1段階	2段階	3段階	1段階	2段階	1段階	2段階		
A 表現	領域	ア 線を引く、絵をかくなどの活動	ア 身近な出来事や思ったことを基に絵をかき、粘土で形をつくるなどの活動	ア 日常生活の出来事や思ったことを基に絵をかく、作品をつくり出す活動	ア 日常生活の中で経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、描いたり、つくったり、それらを飾ったりする活動	ア 経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、描いたり、つくったり、それらを飾ったりする活動	ア 感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に、描いたり、つくったりする活動	ア 感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に、描いたり、つくったりする活動	
	思考力・判断力・表現力等	(ア) 材料などから、表したいことを思い付くこと	(ア) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを思い付くこと	(ア) 材料や、感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことを思い付くこと	(ア) 経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすること	(ア) 経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすること	(ア) 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったり目的や条件などを基に主題を生み出し、構想的な構成を工夫し、心豊かに表現すること	(ア) 対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったり目的や条件などを基に主題を生み出し、構想的な構成を工夫し、心豊かに表現すること	
	表現	・造形遊びをする活動を通して、自ら材料などに働きかけて感じた形や色、自分のイメージなどから造形的な活動を思い付くこと	・小学部1段階で示された「材料など」に加え、体験したことから感じたこと、関心のあることから想像したこと、見たこと	・生活に結び付いた学校行事、社会の行事、自然現象の体験などの題材や、童話などの親しみのある話などの題材の中から自分自身が決めること	・日常生活を見つめ経験したことや思ったこと、材料などを基に、内発的に表したいことを見いだせるようにすること ・作品を完成させるまでのおよその見通しや計画を考えた活動すること	・中学部1段階の直接経験によって得られる題材に加え、想像したことを題材として表現すること。想像とは、体験などを基に感じたことや考えたこと、実際にはあり得ないこと、自分の思いや願いを心の中心に思い浮かべること	・体験などを基に感じたことや考えたこと、実際にはあり得ないこと、思いや願いを思い浮かべること ・気持ちや情報を伝える楽しさを味わわせること、身近な生活の範囲から、使いやすさや利用しやすさを考えるようにすること	・感じ取った形や色彩などの特徴やイメージ、対象の内面や全体の感じ、生命感や心情などから生じた思いや考え ・社会性や客観性を意識して、見る人や使う人の立場に立つて考える目的や条件のこと	
	技能	・並べたりつないだりすることを思い付きやすいもの、ちぎったり丸めたりするなど、そのもの自体の形を変えることを思い付きやすいものなど	・自分のイメージを基に、表したいことを思い付いたり、見付けたりすること	・何を表したいのか明確にして、かいたりつくったりすること ・感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことを互いにつながりのあるものとして捉えること	・出来事を体験し、そこから得た知識や技能までも含めた経験へと発展させること ・主観性の強い表現に加え、客観的に目的に合わせて表現すること	・自分の表したいことや用途などを考えながら、それを基に、新しいことを考えて発想や構想をすること	・感じたことや思いなど、主題とまではいえないものから構想を練ること ・活動の中で表したいことが明確になり、主題が生み出され表現が深まることなど	・楽しさや自分の思いや願い、よさや美しさへのあこがれなど、自己の心を見つめて考えたことを十分に受け入れながら構想を練ること ・主題を基に考えをまとめる構想的な構想と材料や技法などの表現方法の側面からの構想	
B 鑑賞	領域	ア 身の回りにあるものや自分たちの作品などを鑑賞する活動	ア 身の回りにあるものや自分たちの作品などを鑑賞する活動	ア 自分たちの作品や身の回りにある作品などを鑑賞する活動	ア 自分たちの作品や身近な造形品の鑑賞の活動	ア 自分たちの作品や美術作品などの鑑賞の活動	ア 美術作品や生活の中の美術の働き、美術文化などの鑑賞の活動	ア 美術作品や生活の中の美術の働き、美術文化などの鑑賞の活動	
	思考力・判断力・表現力等	(ア) 身の回りにあるものなどを見ること	(ア) 身近にあるものなどの形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること	(ア) 自分たちの作品や、日常生活にあるものなどの形や色、表し方の面白さなどについて、感じ取り、自分の見方や感じ方を広げること	(ア) 自分たちの作品や身近な造形品の制作の過程などの鑑賞を通して、よさや面白さに気付く、自分の見方や感じ方を広げること	(ア) 自分たちの作品や美術作品などの鑑賞を通して、よさや面白さ、美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めること	(ア) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどとして、見方や感じ方を広げること	(ア) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどとして、見方や感じ方を深めること	
	表現	・「身の回りにあるもの」…自分たちの作品や身近な材料など、目の前にある対象 ・見たり触ったりしたときの素直な驚きや喜びを大切に、意欲や関心を重視しながら、それを広げたり確かめたりできるように工夫すること	・身近にあるものを見つめたり、触ったり、手に取ったりすることを通して、自分なりに対象を味わうこと ・指先で触る、手のひらで包み込むように触る、抱きかかえるように触る、持ち上げるなど様々な触ることができるようになること	・自他の作品に題名や名前を付けて飾ったり、作品などを見ながら表現したこと、説明したり聞いたりしながら感じ取ること ・見たり触ったりした作品や材料などの出会いの中で見方や感じ方を広げること ・活動の中で鑑賞する機会をもつことができるようにすること	・「自分たちの作品」…自分や他の生徒の制作した作品や制作しようとしている作品のこと ・「身近な造形品」…表現に関連がある作品や日用品、伝統的な玩具など ・生徒が自分で見つけたよさや面白さを、生徒自身が自ら気付くようにすること	・「美術作品など」…生活の中の造形や我が国や諸外国の親しみのある美術作品などのこと ・自分の見方や感じ方を大切に、様々な視点で思いを巡らせ、自分の中に新しい意味や価値をつくりだせるようにすること	・対象をじっくりと見つめる時間を大切に、自分の感覚で素直に味わうとともに、課題や助言などを基に、形や色彩、材料などに視点を置いて感じ取ったり考えたりすること ・作品が表している内容や形、色彩、材料、表現方法などから、自分の感覚や言葉で感じ取れるようにすること	・対象の形や色彩などの特徴や印象などから内面や全体の感じ、価値や情緒などを感じ取り、外形には見えない本質的なよさや美しさなども捉えようとする ・社会的背景など幅広い視点から捉えた作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について考えること ・使う人や場を考えた作者の温かい思いや、作品の主題や表現の意図などに基づいた創造的な工夫について考えること	
	技能	・水彩絵の具、ポスターカラー絵の具、墨、色鉛筆、ペン、パステル、色紙など	・水彩絵の具、ポスターカラー絵の具、墨、色鉛筆、ペン、パステル、色紙など	・水彩絵の具、塗装用具、接着剤、彫刻刀、簡易な木材・金属加工用具、電動のこぎりや研磨機などの電動工具など ・用具の操作の難易度、手指等の機能や活動に対する理解の状態に応じたものであることに留意すること	・水彩絵の具、塗装用具、接着剤、彫刻刀、簡易な木材・金属加工用具、電動のこぎりや研磨機などの電動工具など ・用具の操作の難易度、手指等の機能や活動に対する理解の状態に応じたものであることに留意すること	・水彩絵の具、塗装用具、接着剤、彫刻刀、簡易な木材・金属加工用具、電動のこぎりや研磨機などの電動工具など ・用具の操作の難易度、手指等の機能や活動に対する理解の状態に応じたものであることに留意すること	・水彩絵の具、ポスターカラー絵の具、墨、色鉛筆、ペン、パステル、色紙など ・塗装用具、接着剤、彫刻刀、簡易な木材・金属加工用具、系のこぎりや研磨機などの電動工具など	・水彩絵の具、ポスターカラー絵の具、墨、色鉛筆、ペン、パステル、色紙など ・塗装用具、接着剤、彫刻刀、簡易な木材・金属加工用具、系のこぎりや研磨機などの電動工具など	
共通事項	知識	(ア) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くこと	(ア) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などの違いに気付くこと	(ア) 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じに気付くこと	(ア) 形や色彩、材料や光などの特徴について知ること	(ア) 形や色彩、材料や光などの特徴について理解すること	(ア) 形や色彩、材料や光などの働きを理解すること	(ア) 形や色彩、材料や光などの働きを理解すること	
	思考力・判断力・表現力等	(イ) 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと	(イ) 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと	(イ) 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと	(イ) 造形的な特徴などからイメージをもつこと	(イ) 造形的な特徴などからイメージを捉えること	(イ) 造形的な特徴などから全体のイメージを捉えることを理解すること	(イ) 造形的な特徴などから全体のイメージを捉えることを理解すること	
	表現	・並べたり、積んだりするなどの一つ一つの行ったことから形や色などを捉えること	・形や色などを比べて選ぶ、様々な材料に触れるなどの、多様な学習活動を設定し、楽しみながら形や色などの違いに気付くようにすること	・形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさ、柔らかさ、前後の感じ、質感などに体験的に気付くようにすること	・個別の感じ方や考え方などに応じながら活用し身について、新たな学習過程を経験することを通して再構築されていくものとなること	・形や色彩などの造形の要素に着目し、それらの特徴について、感覚や行為から理解すること	・色彩の色味や明るさ、鮮やかさ、材料の性質や質感を感じ、形の優しさ、色の楽しさや寂しさ、木の温かさ、光の柔らかさ、形や色彩などの組み合わせによる美しさなどを心で感じ取れるよう、実感を伴いながら理解できるようにすること	・高等部1段階において身に付けた資質・能力を柔軟に活用して、表現及び鑑賞に関する資質・能力をより豊かに高めること	
	技能	・イメージは自分の感情や行動などと一緒に得られるもの	・イメージは自分の感情や行動などと一緒に得られることが多いもの	・自分の感覚や行為とともにイメージをもつこと ・形や色の感じ、自分の思いや経験などの手掛かりを基にイメージをもつこと	・作品などの全体に着目させて、造形的な特徴などを基に見立てたり、心情などと関連付けたりしてイメージをもつこと	・作品などの全体に着目して、造形的な特徴などからイメージが捉えられるようにすること ・具体物に見立てたり心情などと関連付けたりするなどの全体を見つめること	・全体に着目させて、造形的な特徴などを基に見立てたり心情などと関連付けたりして全体のイメージを捉えること、作風などの視点で捉えることなどについて、実感を伴いながら理解できるようにすること	・対象を具体物に見立てたり心情などと関連付けたりするなど全体のイメージで捉えること、全体を文化的な視点から捉えること	

【参照】文部科学省、『特別支援学校学習指導要領（平成29年告示）解説 各教科編（小学部・中学部）』開隆堂、2018、p.185-p.217
 【参照】文部科学省、『特別支援学校学習指導要領（平成29年告示）解説 各教科編（小学部・中学部）』開隆堂、2018、p.406-p.436
 【参照】文部科学省、『特別支援学校学習指導要領（平成31年告示）解説 知的障害者教科編（下）（高等部）』ジヤース教育新社、2020、p.24-p.55

段階	小学部2段階						小学部3段階						中学部1段階						中学部2段階												
	T3			T2			T4						T1・T5						Kさん		Dさん										
支援担当教員																															
生徒氏名	Iさん		Hさん				Eさん		Gさん		Cさん		Bさん		Jさん		Aさん		Fさん		Kさん		Dさん								
かっこいい1 知識及び技能	目標	はっきりみえる丸をみつけよう（3択） （比較する活動を通して、光の鮮明さの違いに気付く）						はっきりみえる丸をみつけよう（3択） （比較する活動を通して、光の鮮明さや感じの違いに気付く）						はっきりしたまの光をつくらう （円柱の高さによって、光の鮮明さや感じの違いに気付く、必要な紙の幅について知る）						はっきりしたまの光をつくらう （円柱の高さによって、光の鮮明さや感じの違いに気付く、必要な紙の幅について理解する）											
	目標達成のための指導・支援	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった			
	目標設定	○	○	△	○	○	△	○	○	△	○	○	△	○	○	△	○	○	△	○	○	△	○	○	△	○	○	△	○	○	△
かっこいい2 思考力、判断力、表現力等	目標	光のかたちをつくらう （感じ取った光の形の面白さからイメージする）						光のかたちをつくらう （感じ取った光の形の面白さから、表したいことを具体的にイメージする）						光の形をつくらう （光の造形的な特徴から、表したいことを具体的にイメージする）						光の形をつくらう （光の造形的な特徴から、表したいことや表し方を考える）											
	目標達成のための指導・支援	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった
	目標設定	○	○	△	○	○	△	○	○	△	○	○	△	○	○	△	○	○	△	○	○	△	○	○	△	○	○	△	○	○	△
発表 思考力、判断力、表現力等	目標	つくった光の形を紹介しよう （光の形の面白さを感じ取る）						つくった光の形を紹介しよう （光の形の面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げる）						つくった光の形を紹介しよう （自他の表し方のよさや特徴に気付く、自分の見方や感じ方を広げる）						つくった光の形を紹介しよう （自他の表し方のよさや特徴に気付く、自分の見方や感じ方を深める）											
	目標達成のための指導・支援	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった
	目標設定	○	○	△	○	○	△	○	○	△	○	○	△	○	○	△	○	○	△	○	○	△	○	○	△	○	○	△	○	○	△
授業全体を通して 主体的に取り組む姿勢	目標	光の効果に関心をもち、見比べたり、試したりする活動に教員と一緒に楽しく取り組む						光の効果に関心をもち、見比べたり、試したりする活動に進んで取り組む						光の特徴を生かそうと、見比べたり、自分なりの方法を試したりする活動に楽しんで取り組む						光の特徴や美しさを生かそうと、自分なりの方法や表し方を試し、主体的に取り組む											
	学習調整（創意工夫）																														
	生徒氏名	Iさん		Hさん				Eさん		Gさん		Cさん		Bさん		Jさん		Aさん		Fさん		Kさん		Dさん							

次時への改善点

振り返りシート（教員用）について

(1) 活用の流れ
 ↓【授業前】授業計画（略案）配付 → 授業の内容、担当生徒の目標や手立ての確認
 ↓【授業実施】
 ↓【授業実施後】振り返りシート（教員用）配付 → 担当生徒の様子や気づきについて記入 → 生徒の様子や改善点を確認、次時の計画・準備

(2) 記入内容
 ★「目標設定の妥当性」「目標達成のための指導・支援」 → 当てはまる項目に○を記入（担当生徒）
 ★「主体的に取り組む姿勢・気づき」「次時に向けての改善点」 → 自由記述（担当生徒以外についても気づきがあれば記入）

例)

支援（見本提示）で達成でき、目標設定は適切だった	支援しなくても達成でき、目標設定は簡単だった	支援したが目標達成は難しく、目標設定が難しかった																																																						
<table border="1"> <tr> <td>支援なしでできた</td><td>支援あればできた</td><td>支援しても難しかった</td> <td>支援なしでできた</td><td>支援あればできた</td><td>支援しても難しかった</td> <td>支援なしでできた</td><td>支援あればできた</td><td>支援しても難しかった</td> </tr> <tr> <td>○</td><td>○</td><td>△</td> <td>○</td><td>○</td><td>△</td> <td>○</td><td>○</td><td>△</td> </tr> </table>	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	○	○	△	○	○	△	○	○	△	<table border="1"> <tr> <td>支援なしでできた</td><td>支援あればできた</td><td>支援しても難しかった</td> <td>支援なしでできた</td><td>支援あればできた</td><td>支援しても難しかった</td> <td>支援なしでできた</td><td>支援あればできた</td><td>支援しても難しかった</td> </tr> <tr> <td>○</td><td>○</td><td>△</td> <td>○</td><td>○</td><td>△</td> <td>○</td><td>○</td><td>△</td> </tr> </table>	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	○	○	△	○	○	△	○	○	△	<table border="1"> <tr> <td>支援なしでできた</td><td>支援あればできた</td><td>支援しても難しかった</td> <td>支援なしでできた</td><td>支援あればできた</td><td>支援しても難しかった</td> <td>支援なしでできた</td><td>支援あればできた</td><td>支援しても難しかった</td> </tr> <tr> <td>○</td><td>○</td><td>△</td> <td>○</td><td>○</td><td>△</td> <td>○</td><td>○</td><td>△</td> </tr> </table>	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	○	○	△	○	○	△	○	○	△
支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった																																																
○	○	△	○	○	△	○	○	△																																																
支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった																																																
○	○	△	○	○	△	○	○	△																																																
支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった																																																
○	○	△	○	○	△	○	○	△																																																

目標達成のための指導・支援	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった	支援なしでできた	支援あればできた	支援しても難しかった
目標設定	○	○	△	○	○	△	○	○	△	○	○	△	○	○	△